

A76
121

新國家承認問題 (改訂)

国立国会図書館



0010870000

0010870-000

A76-121

新國家承認問題

[南滿州鐵道] 經濟調查会第五部

改訂

[1932]

ABJ

LLH-60

極秘

J1
223

新國家承認問題(改訂)

經濟調查會 第五部

A76
121

新國家承認問題

- 一、新國家ノ成立ト承認
- 二、承認ニ對スル障礙
- 三、帝國ト滿洲國承認
- 四、承認ノ形式
- 五、新國家承認ノ基本協定事項

(昭和七年七月)



79W11952

新國家承認問題

一、新國家ノ成立ト承認

滿洲國ハ三月一日ヲ以テ成立シタルヲ以テ滿洲國ソレ自身トシテハ三月一日以後完全ナル國家トシテ對內的ニモ將多對外的ニモ對抗シ得ヘシ然レトモ右ハ滿洲國ノミノ主張シ得ル所ニシテ之ヲ承認セサル諸外國ハ事實上中國政府ヨリ獨立セル一地方政權ト目シ又ハ獨立ヲ宣言セル事實上ノ政府ト認ムルノ外無カルヘシ。カクテ實際上滿洲國ハ外國ノ承認以前ニ於テハ國際關係ノ一員タル權利義務ヲ享有スルモノニ非ス。

然ルニ滿洲國ノ實際ヲ見ルニ中央政府ハ成立セルモ、其ノ權力ハ獨立宣言ニ掲タル全地域ニ及ハス各地ニ叛徒蜂起シ日本軍ノ援助ニヨリ鎮定シアルノ狀況ナリ從ツテ滿洲國ハ國家承認ノ客觀的條件ヲ具備セリト認ムルニト困難ナリ從ツテ滿洲國ノ承認問題ハ法理上ノ問題ト云ハンヨリ政策論ニ屬ス



二、承認ニ對スル障礙

一、國際法上ノ客觀的要件ヲ具備セストナスノ説
支那ハ元來治安ノ維持完全ナラス、文明諸國ト同日ニ論スルヲ得ヌ、
中華民國政府承認當時ノ狀況ニセヨ、且最近ノ南京政府承認當時ノ夫
ニセヨ國家トシテ充分ナル國際法上ノ要件ヲ具備セリトハ云ヒ難シ、
今滿洲國ハ匪賊討伐モ著セトシテ進ミ治安維持ノ實モ次第ニ舉リツツ
アルノ現状ヨリ見テ決シテ國際法上ノ承認ノ要件ヲ具ヘストハ云ヒ難
シ

二、滿洲國ハ日本ノ出兵ヲ機會ニ成立シタル國家ナル故ニ日本カ率先シテ
之ヲ承認スルハ國際法ニ反ストナスノ説

日本ノ自衛行爲ニヨリ暴戾ナル舊東北政權ノ倒壊セル後ニ民族自決
ニヨリテ新國家ハ成立シタルモノニシテ、日本ハ國家トシテ何等滿洲
國ノ成立ニ關與シタルコトナシ、日本ノ出兵ト滿洲國成立トノ間ニハ
何等内部的因果關係ハ無ク、日本カ率先シテ滿洲國ヲ承認スレハトテ
何等國際法ニ違反スルモノニ非ス

三、九國條約第一條及聯盟規約第十條ニ違反ストノ説

右二條項トモ支那ノ領土保全ヲ尊重スヘキコトヲ約束シタルモノナ
リ要スルニ現状維持主義ヲ定メタルモノニシテ、他國ヨリ之ヲ侵略セ
サルコトヲ約束セルノミ、今回ノ滿洲國獨立ノ如ク一國內ニ於テ分解
作用ヲ起シ新國家成立スル場合ノ如キ、之等條項ノ關スル所ニ非ス、
殊ニ國際聯盟規約ニ一貫スル精神ハ國際協調ト民族自決ノ二大原則ナ
リトス、東北民衆ノ中華民國ヨリ分離シ民族自決ノ精神ヨリ滿洲國ヲ
創設スルモ何ソ聯盟規約違反トナランヤ

四、新國家承認以後ノ日本ノ宣言ニ反ストナスノ説

日本ハ滿洲ニ對シテ何等領土的野心ヲ有スルモノニ非ストハ帝國ノ
屢次宣言セル所ナリ、滿洲國ハソレ自體ノ活動ニヨリテ成立セルモノ
ナリ、帝國ノ承認ハ滿洲國ヲ利害關係最モ深キ一隣邦トシテ承認セル
モノニシテ何等右宣言ニ反スルモノニ非ス

三、帝國ト滿洲國承認

以上ノ如ク承認ニ付テハ種々反對スヘキ議論アルモ、日本トシテハ一
刻モ早ク承認スヘキモノナリ

日本ハ承認ニヨリテ如何ナル利益ヲ受クルヤ

一、正式ノ外交關係ヲ樹立シ得

二、日本ノ滿洲ニ於テ有シタル特殊權益及事變後獲得セル事實上ノ權益モ
之ヲ確保シ得

三、滿洲國自身日本政府ノ承認ニヨリ基礎ヲ確實ニシ得

四、從來匪賊討伐ハ自衛ノ權發動ヲ名トシテナセルモ承認後ハ滿洲國ヨリノ
委託ニヨリテナシ得

サレト承認ニハ前記ノ利益アルモ前章記載ノ國際法上ノ障礙モ
且ハ又支那トノ關係ノ惡化モアルニ付之等ニ對シ充分ノ覺悟ト對策ヲ
必要トス

四、承認ノ形式

國家獨立ノ承認ハ國際法上要式行爲ニ非ス、其ノ意思表示ハ默示的タル
コトヲ得又明示的タルコトヲ得ルナリ默示的承認トシテハ帝國ヨリ新國
家へ外交使節ヲ差遣スルカ如キ、在滿帝國領事ノ認可ヲ新政府ニ求ムル
カ如キ其ノ他ノ方法存ス、明示的承認トシテハ一方の宣言又ハ通牒ヲ以
テスル場合ト、獨立承認ノ條約締結ヲ以テスル場合トアリ

以上各種ノ方法中默示的承認ハ實際的ノモノトシテ敢テ不可ナキカ如シ
始メ帝國領事ハ新政府トノ間ニ非公式ナル交渉ヲ進メ次ニ公式ナル交渉
ニ移リ、斯カル經過ヲ經テ領事ノ認可又ハ外交使節ノ差遣接受ニ至リ國
家承認ヲ實現スヘク穩和ニシテ漸進的手段ナレハナリ此ノ場合ニ於テハ
外交使節差遣ノ頭初ニ於テ帝國ハ新國家トノ間ニ條約ヲ締結シ帝國ノ要
求スル各種ノ案件ニ關シ取極ムルノ必要アルカ如シ

明示的承認中、一方の宣言又ハ通牒ニ依ルモノハ其ノ手續極メテ簡單ニ
シテ容易ナリト雖今ノ場合ニハ適當ナラサルカ如シ、帝國ハ新國家ニ對
シテ各種ノ要求ヲ有シ其ノ承認ニ際シ之ニ應諾セシムル必要アル處、一

方の宣言又ハ通牒ハ一方的意思表示ニシテ右新國家ノ受諾ヲ取付クルノ形式ニ非ス、此ノ缺點ヲ補フモノハ條約ナリトス。

條約ハ當事者雙方ノ合意ナルカ故ニ帝國ノ要求ニ對シ新國家受諾スルノ意思表示ヲ明カニスル形式ナリトス此ノ條約ニ於テハ帝國ノ新國家承認ノ意思ヲ明瞭ニ表示スヘキコト勿論ナルカ之ト同時ニ帝國ノ要求スル各種ノ條件ヲ定メサルヘカラス

五、新國家承認ノ基本協定事項

帝國ノ承認力默示的タルト明示的タルトヲ問ハス承認ノ顯初ニ於テ各種ノ要求ヲ爲ササルヘカラス

此ノ要求ハ大別ニシ既得權益ノ確保ト新ナル權益ノ取得トニ分ツコトヲ得ヘシ、今其ノ主要ナル事項ヲ掲ケレハ左ノ如シ

一、新國家ノ領域内ニ帝國軍隊ヲ駐在セシムルコト

帝國軍隊ノ駐在權ニ關シ之ヲ新國家國防又ハ警備權ノ委任トスヘキヤ將又軍ナル軍隊ノ駐在權トスヘキヤ等ノ問題存スル處其ノ何レトスルヤハ軍部ノ意向ニ依リ決定セラルヘキモノナルヘシ

二、滿洲國政府ハ其ノ外交關係ニ於テハ帝國政府ノ意見ヲ聞キ同國政府ノ贊同ヲ得スレテ何等條約ヲ締結セサルヘシ

三、新國家ハ外交、財政、交通ノ各部及警察官廳ノ一定ノ地位ニ一定ノ本邦人ヲ雇傭スルコト

新國家ニ僱傭セラレタル本邦人ノ地位ニ關シテハ何等ノ保障存セサル處此ノ條項ニ依リ右ハ強固トナリ本邦人ハ新國家ノ統治機構ノ内部ニ

在リテ新國家ノ統制力ヲ把握スルコトヲ得ヘシ

四 新國家ハ其ノ領土内ニ居住スル諸種族ノ生命、財産及自由ヲ、其ノ宗教、國籍ノ如何ヲ問ハス充分ニ尊重スルコト

右ハ所謂少數民族保護ノ規定ニシテ、新國家ノ諸民族共存共榮主義ヲ定ムルモノナリ

五 新國家ハ日支間ノ條約、協約、協定等ニ依リ帝國ノ新國家領域内ニ於テ又ハ之ニ關連シテ有シタル一切ノ特權、權利又ハ利益等ヲ繼承シ充分ニ之ヲ尊重スルコト

此ノ規定ニ依リ所謂滿蒙ニ於ケル帝國ノ既得權益ハ繼承尊重セラルルコトトナル、即チ旅大租借權、滿鐵ニ關スル各種ノ權利、大正四年ノ約定ニ依ル諸權利等ハ引續キ新國家ニ對シ其ノ効力ヲ有スヘシ

六 前項各種權益ニ關シ從來各種ノ問題生シタルニ鑑ミ之ヲ解決スルノ期則協定ヲナスタメ新國家ハ日本政府ノ希望スル時期ニ於テ遲滯ナク協議ヲ遂クルコト

帝國ノ既得權益ニ關シテハ從來日支間ニ各種ノ問題アリ右ハ支那側ノ

態度ノ不忠實ナルニ基クコト勿論ナルモ、在來ノ條約明文不明瞭ナリシ場合モナキニ非ス之等ノ從來ノ懸案ヲ解決スルコトハ最必要ナルモ承認ノ頭初ニ於テ一時ニ之ヲ處理スルコトハ到底不可能ナルカ故ニ爾後願ヲ遂ヒテ解決スヘク之ニ關シ新國家ノ總括的同意ヲ取付ケ置クノ必要アルヘシ

七 新國家領域内ニ於テ本邦人（法人ヲ含ム）ノ有シタル既得權ハ引續キ有効トシ之ヲ充分ニ尊重スルコト

第八項ハ帝國トシテ有スル國際法上ノ權益ヲ繼承セシムルモノニシテ從來本邦人ノ滿蒙ニ於テ有シタル各種ノ權益ノ大部分ハ右國際法上ノ權利ニ基キタルモノナルヲ以テ第八項存スル限り充分ナルカ如キ觀ナキニ非ス、然レトモ本邦人ニシテ從來中央又ハ地方官憲ノ個々ノ場合ニ於ケル特許ニ依リ私權ヲ享有セル場合ナキニ非ス、例ヘハ森林伐採權、土地所有權（業主權）ノ如キ其ノ一例ナリトス、之等ノ既得權ヲ確保スルタメ本項モ亦必要ナリトス

八 通商關係ハ過渡的措置トシテ現行日支通商條約ニ則リ處理シ、能ク限

リ過ニ大體右通商條約ノ趣旨ニ依ル通商條約ヲ締結スルコト
相互平等ノ原則ニ基ク通商條約ヲ締結スヘシトスルノ議論一部ニ存ス
ルカ如キモ時期尙早ナルヘシ

九、日本ハ原則トシテ治外法權ノ撤廢ヲ承認シソノ實現ニ努ムヘキコト
是法權撤廢問題ニ對スル從來ノ帝國政府ノ態度ナリトス新國家ノ司法
制度ハ未タ法權撤廢ヲ實現セシムル程度迄ニ改善セラレス、帝國ハ從
來ノ態度ヲ持續スレハ可ナルヘシ

一〇、新國家ハ其ノ豐富ナル天然資源ノ充分ニ開發セラルルコトヲ希望スル
ニ因リ本邦人カ新國家人民ト同様ノ條件ヲ以テ農工商等各種ノ營業ヲ
爲スニ必要ナル一切ノ權利ヲ享有シ得ルコトヲ認ムルコト
此ノ條項ハ最^モ肝要ナリトス之等諸權利ノ享有ニ關シ本邦人ノ獨占權又
ハ優越權ヲ設定スルハ機會均等主義ニ反スルヲ以テ之ヲ避ケサルヘカ
ラス

一一、外國人排斥及外國貨排斥ノ有害ナルニ鑑ミ新國家ハ之ヲ充分且完全ニ
取締ルト共ニ内外人ノ親和共存共榮ヲ増進スルノ措置ヲ執ルコト

一二、從來支那政府ノ日本國政府及日本臣民ニ對シ負擔シタル債務ハ左ノ通
之ヲ繼承スルコト

(一) 當該債務ノ特別擔保物タル財產カ新國家内ニ存在スルモノ
之ニ依リ各種鐵道借款、吉黑兩省林鐵借款ハ確保セラル

(二) 關稅及鹽稅ヲ擔保トスル債務ハ公平ナル割合ヲ引受クルコト
右ハ「サン・ジェルマン」條約ノ趣旨ニ從ヒ一九二八年、一九二九
年及一九三〇年ノ三年度ノ平均ヲ基礎トシテ算定スルヲ可トスルカ
如シ

(三) 新國家版圖内ニ於ケル舊地方官廳ノ負擔セル各種ノ債務
舊東北政權、各省政府等ノ負擔セル債務ニシテ賣掛代金等ヲ含ム

2EH-60

191

